



輝くあさひ

第39号

発行 朝陽地区住民自治協議会
会長 古川晴雄
編集 広報部会
印刷 株式会社双真

「行動に責任、失敗恐れずに」

平成29年朝陽地区成人式

穏やかな好天に恵まれた1月2日、平成29年朝陽地区成人式が市公民館、朝陽地区住民自治協議会の主催で行われました。式典会場の公民館体育館には晴れ着やスーツ姿の新成人63名が出席し、華やいだ雰囲気。記念撮影に続いた式典では、市歌齊唱、轟研一公民館長が「責任が生じることを肝に銘じ、大きな目標と夢を持ち納得ゆくまで…」と式辞を述べました。市選挙管理委員会の投票の呼びかけ、地元県議らの激励の祝辞が続き、新成人らは緊張の中にも熱心に耳を傾けていました。新成人を代表し北屋島地区の前島幹さんは、自分たちの生まれた時代は新幹線や高速道が開通し長野冬季五輪開催に向け機運が高まっていた時。2020年に開かれる東京五輪の同世代の活躍が楽しみで、一社会人として貢献できれば…とし「私たちは、何かにつけ引き合いに出される『ゆとり世代』。本日大人の仲間入りをしたので、自分たちの行動に責任を持ち失敗を恐れず取り組みたい」と抱負を述べました。この後、市内に拠点を置くゴスペルグループの記念演奏、祝賀会。数年ぶりに再開した恩師や旧友と思い出話や近況を語り合い楽しいひと時を過ごしました。



朝陽地区住民自治協議会
(事務局) 長野市北尾張部226-9
電話・fax 026-219-1068
ホームページ <http://asahi-jk.jp>

朝陽地区人口 : 15,224人 (+7) 6,174世帯 (+47)
=2017年3月1日現在。 () 内は昨年同月比
(内訳) 南屋島 852人 (+25) 北尾張部 2,366人 (+47) 北屋島 521人 (-11) 北長池 2,738人 (-43)
北 堀 2,620人 (-7) 石 渡 2,571人 (-19) 南 堀 2,788人 (±0)
桜新町 768人 (+15)

平成28年度住民自治協議会の活動を振り返って

朝陽地区住民自治協議会会長 古川 晴雄(桜新町)

だければと思います。

土木関係では、地域の悲願でもありました東外環状線建設促進に向けて一定の前進が見られ、県道三才大豆島中御所線の石渡・南堀交差点前後の拡幅改良工事も順調に進められており、間もなく完成の運びとなります。新たに千曲川左岸堤防改修に向け、千曲川河川事務所への要望活動を行い、改修工事に向け前進することができました。

一方、介護保険制度の変更により、地域に課せられた課題は大変多く、地域での「支え合い」活動の重要性はさらに増してきており、2025年度を見据えた地域包括システムの構築を急がねばなりません。

このように住民自治協議会が果たさなければならない役割は大変重要であります。来年度も本年度同様、地域住民の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、本年度の報告とさせていただきます。誠にありがとうございました。

今年度の朝陽地区住民自治協議会の事業の中心は、住民同士による「支え合い」活動への取り組みを進めていく事が主眼でした。そのため「支え合い」、「支え合うまちづくり」をテーマに、2回に渡る研修会を開催し、大変多くの方々にご参加いただきました。(この事業は、地域やる気支援事業として実施されたものです)

また、地区社協を中心に「支え合い安心のまちづくり」を主題とした、平成29年度から33年度にわたる「朝陽地区第二次地域福祉活動計画」の策定に取り組んでいただきました。この計画の策定につきましては、大変多くの方々にご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

他の事業としては、従来の一支所一事業を改称し、「地域発きらめき事業」として、朝陽地区におきましては「菊芋焼酎づくり」に取り組み、この春には地区的皆様のお手元にお届けできるものと思います。地域の大勢の皆様にお飲みいただき、地区等で行われます会合等に是非ご利用いた

■各部会活動報告

【総務部会】

所管事業の実施

- ①「生き生き朝陽 みんなでトーク」市民会議の開催
(8月20日、出席者86名)

地区提案議題1－地域拠点としての総合施設建設用地の早期取得について

住自協副会長 川又 秀一氏

地区提案議題2－災害時における地域内避難所について

住自協社会福祉部会長 丸山 年永氏
会議終了後加藤市長を囲んでの懇親会(64名)

- ②朝陽地区戦没者等追悼式の開催
(9月22日、出席者50名)

戦没者の皆様に不戦を誓い追悼式は厳粛のうちに執り行なわれました。

- ③朝陽地区「地域発きらめき事業」実行委員会を立上げ事業を実施

事業概要 地区内ご当地企業と連携した「朝陽市場」の開設及び北屋島地区管理遊休農地を活用し菊芋を栽培、収穫した菊芋を使用し焼

部会長 上原 悟(北堀)

- 耐の委託醸造及びその販売(販売は平成29年3月より開始) =8頁に掲載
朝陽市場 北堀地区で開催の「あさひ・ふるさと夏祭り」へ出店(7月21日)
朝陽地区健康マラソン大会で菊芋の販売(11月3日)

菊芋収穫祭の開催(11月19日) =写真

なお、7月と11月の収穫祭にはAC長野パルセイロの女子選手も参加しました。

- ④男女共同参画の推進

- 11月8日の総務部会にて、長野県短期大学准教授築山秀夫氏による講演会及び質疑応答による勉強会の実施
- 1月28日、市地域女性ネットワーク主催のしなのきフォーラムに参加



部会長 田中 久夫(石渡)

う」の研修会を開催

- ③防災施設研修会

長野市河川課と長野地方気象台の協力を得て、市内の防災関連施設(南部雨水ポンプ場・長野地方気象台・長野運動公園雨水調整池)を視察

- ④防災講座

日本赤十字社長野県支部の協力を得て、「避難所運営についての講話と模擬演習」の講座を開催

- ⑤「もしもの安心メモ」カード

災害発生に備える各家庭向けに、「もしもの安心メモ」(裏面に、もしもに備える持ち物リスト)カードを新たに

1 防災対策事業として

- ①水害防止用土のう点検整備・水防訓練

長野中央消防署東部分署及び消防団朝陽分団の指導・協力のもと、土のう点検整備及び水防訓練を実施

- ②防災研修会

朝陽地区自主防災会連絡協議会との共催で、「長野県政 出前講座」を活用し「地域の防災力をアップしよ

作成し配付

2 防犯対策事業として

①防犯研修会

長野中央署生活安全第一課の協力を得て、「地域における防犯活動について」の研修会を開催

②夏季・年末防犯パトロール実施

各地区において、役員、防犯指導員、女性防犯部員、少年育成委員等の協力で実施

③ポスター・立て看板による啓発

3 交通安全対策事業として

①交通安全運動街頭啓発に参加・協力

②長野市交通安全マナーアップデー街頭啓発活動の実施

③市道等の白線塗布実施

【環境美化部会】

地域の生活環境の改善、地球温暖化防止に向けて、住民の意識を高め住み良い街づくりを目指す活動を推進してきました。

1 生活環境改善の取り組み

- 春、秋2回（長野市の一斉清掃5月・10月に合わせ）各地区内で清掃美化を行いました。環境美化への関心の向上を図りました。
- ごみ分別ルールの啓蒙、不法投棄防止看板の設置、ごみ集積所の整備等を行い地域環境改善に取り組みました。

2 ごみ削減の取り組み

- 段ボール箱による生ごみの自家処理講座を開催し、ごみ減量の意識を高めました。

3 温暖化防止と自然環境保全の取り組み

- 新企画「触れる地球」の体験講座を開催しました。大気、気象をはじめあらゆる分野の地球を地球儀に触れて学びました。

【社会福祉部会】

社会福祉部会は平成28年度に産声を上げ、朝陽地区社協ならびに朝陽地区住民の皆様のご指導を得て一年間活動してまいりました。平成28年度は加速する高齢化社会において、「社会福祉」は大きな転換期を迎えての対応に苦慮した1年でもありました。まず、介護保険制度改革に伴う「介護保険総合事業サービス」の内容を地区別福祉懇談会で説明してまいりました。また、災害時等における隣近所の支え合いを視野に「支え合い安心のまちづくり」に、安全防災部会と連携し「支え合いマップ」作りにも着手しました。新規取り組みとして高齢化社会に伴う

4 支え合い事業として

①支え合うまちづくり研修会

まちの縁側育みプロジェクトながの世話人 小林博明氏の講演（支え合うまちづくり）を開催=写真

②支え合いマップづくり研修会

住民流福祉総合研究所代表 木原孝久氏の講演「支え合いマップづくり入門」と「支え合いマップづくりの模擬演習」を開催



部会長 千野 登 (北堀)

- エコドライブ体験講座を開催しました。運転シミュレーターによる家計と環境にやさしいエコ運転のノウハウを習得しました。
- 千曲川河川敷の清掃と探鳥会を開催し、千曲川にいる野鳥の生態を学びました=写真。また、朝陽地区内の千曲川河川敷のごみ拾いを実施しました。

4 観察研修の取り組み

- 新企画「千曲川流域下水道施設『クリーンピア千曲』」の観察を行い、日頃自分たちが出している下水がどの様に処理されているか研修・見学しました=5頁に掲載。



部会長 丸山 年永 (北屋島)

認知症の方、またその家族の皆様のいこいの場として「オレンジカフェ」を長野市内でも先駆けてオープンしました=8頁に掲載。なお、児童から高齢者を対象にした通常福祉活動は例年通り実施しました。今後も、「社会福祉部会」活動に御指導御鞭撻よろしくお願い申しあげます。



社会福祉部会などがお手伝いし実施された
朝陽小の福祉体験（10月28日）

部会長 松山 剛士 (南堀)

業を通じて行ってまいりました。各地区では、健康推進員の皆様方に精力的に活動して頂き、お茶のみ会や地区別健康講座等で地域の皆様と交流しながら健康を考える場となりました。

1 ウォーキング講習会（6月）

効果的なウォーキング法とはどういうものか？運動指導士の工藤千恵先生から、適切なペース配分や手や足の正しい動かし方を学びました。

【健康増進部会】

健康増進部会は昨年4月に健康・福祉部会から独立し、主に地域の皆様の健康づくりを目指した事業を継承し活動してきました。疾病予防、健康増進および介護予防の推進は、個人または各家庭それぞれの認識や取り組みによりなされるのですが、それに加えて学校・職場・地域といった場で互いに情報を共有しながらみんなで取り組む事が重要とされています。そうした観点に立ち、多くの地域の皆様に向けた健康に関する情報提供を、各事

2 健康推進員研修会（7月）

3 健康講演会（10月）

「寝つきを半分に減らす～やっぱりサキベジ」と題して、管理栄養士の的場明子先生よりご講演を頂きました。

4 朝陽手のひら体操の普及

5 健康だよりの発行（回覧・年3回）

三陽保健センターの保健師さんに監修していただき、体調管理や生活習慣に関する情報紙を発行しました。

6 健康のつどい（1月）

作業療法士の中西則行先生から市が薦める「はつらつ

体操」を紹介していただきながら、一人ではなく地域の仲間で介護予防をしていきましょうとのお話を頂きました。続いて、管理栄養士の柳澤ゆかり先生から、血管を若々しく保つための栄養学的なお話をして頂きました=写真。試食会で頂いた菊芋のグラタンは絶品でした。



部会長 豊森 富雄（北屋島）

青少年の健全育成と明るい地域文化づくりを目指して、次の事業を行いました。

1 あいさつ運動

この運動も27年目を迎え、本年度は、“みんなであいさつ、皆で笑顔、明るい朝陽地区”をモットーに家庭・地域でのあいさつを重点に実施しました。

2 健康マラソン大会

第38回健康マラソン大会が11月3日、選手320人に役員、保護者等合わせて500人を上回る大勢の皆さんに参加いただいて盛大に開催されました=写真。

3 その他の事業

①明るい地域づくりと人権意識向上のため、朝陽地区人権を考える住民集会（6月）、地区幹事・地域公民館担

当役員、構成団体役員研修（10月）を実施しました。
②青少年の健全育成を願い、地域と学校との連携懇談会（7月）、サンライズ杯野球大会（9月）、青少年育成推進大会（10月）、綱引大会（1月）=5頁に掲載、および地域の環境浄化活動（通年）を実施しました。
③朝陽地区の昔話等の掘り起こし事業として、「善光寺平用水と地域用水の昔と今」と題して7月に講演会を行いました。また、6月には、中条公民館で開かれた長野市甚句・音頭交流会に参加しました。

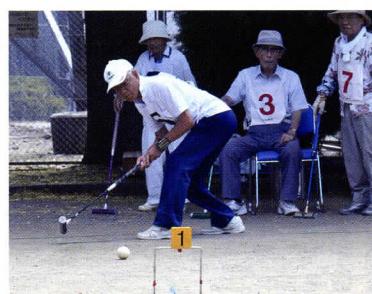


部会長 栗原 満（北尾張部）

陽公民館にお迎えし、演芸の部では朝陽小学校6年生全員による素晴らしい歌声と参加者全員での合唱を行なうなど、楽しい1日を過ごしていただきました。

4 成人式=1頁に掲載

1月2日、63名の新成人を市立朝陽公民館にお迎えし、式典に続き記念演奏ではゴスペルグループ「ラフ・ダイヤモンズ」の美しいハーモニーが門出に花を添えました。



部会長 村田 憲明（北堀）

区の皆さんのが参加したくなるような写真を豊富に掲載し、読みやすく親しんでいただく紙面を心掛けました。



【広報部会】

広報紙「輝くあさひ」を4回発行しました。住自協各部会の活動や行事を中心に、8地区の芸能やスポーツ、新しい出来事を各地区の広報部員が積極的に取材しました。前年度に引き続き朝陽地区事業者の広告を掲載し、住自協の運営費として活用しました。各地区の人口増減が比較できるよう、昨年同月比を掲載するなど工夫を凝らしました。特に、今回発行の第39号は2ページを増やし初めて8ページにしました。各部会の事業報告とともに、朝陽地

平成29年度 朝陽地区住民自治協議会定期総会のお知らせ
日時：平成29年4月22日（土）午後2時～ 場所：朝陽支所2階集会室

寒さの中熱戦展開

第24回朝陽地区綱引大会

【1月14日】

「第24回朝陽地区綱引大会」が1月14日、住自協教育・文化部会など実行委員会の主催で行われました。当日は今年1番の寒気で大雪に見舞われましたが、会場の朝陽小体育館では歓声や笑い、小さな子は悔し涙にあふれた熱戦が繰り広げられました。8地区から小学生250人の低学年11チーム、高学年10チーム、スタッフ・父兄を合わせ450人が参加。当初は長野市各地で「寒い冬に大人も子供も元気になろう!!」と始まった綱引大会ですが、20年以上上250人の子どもたちが参加しているのは朝陽地区だけだそうです。低学年の部、優勝は北長池C、準優勝は桜

ファイヤーズ、3位が北おわりべAチームとBチーム、高学年部はチーム北堀、準優勝は石渡A、3位は北長池AチームとBチームでした。高学年優勝のチーム北堀は11人しかメンバーが集まらず、低学年との合同チーム、5・6年生が可愛い1・2年生の女の子を挟んで1セット目の試合に挑みながらも、見事なチームワークで優勝に導きました。朝から会場設営・除雪など準備に奮闘されたスタッフの皆さんご苦労さまでし



みんな de いきいき生活

「朝陽区民健康の集い」

【1月21日】

健康増進部会による初めての健康講座が1月21日、公民館体育館で開かれました。テーマは「地域で取り組む介護予防 出来ることから始めよう」、「健康的でおいしい食事について学ぼう」で、大雪にも関わらず約40人が参加しました。まず、市介護保険課の作業療法士中西則行さんの指導ではつらつと体操を行い身体を暖めました=写真。「健康寿命を伸ばすには“貯筋”が大切。これからは、身体を動かす場所や仲間作りを各地区で進めて」と講話。続

いて調理室へ移動し、市保健所健康課管理栄養士柳澤ゆかりさんが、「心疾患や動脈硬化などの予防には血管を健康に保つこと。それには野菜の持つ栄養素などを知り摂取すること」と解説。地域発きらめき事業で取り組んだ菊芋を使ったグラタン、甘みが強い冬野菜のセイロ蒸し、黒豆おこわなどを試食し講座を終えました。



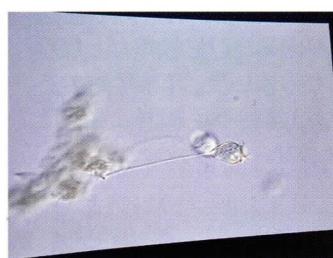
「主役は微生物」にびっくり

千曲川流域下水道処理施設見学

【1月27日】

自分たちが毎日出している下水はどのように処理されている?環境美化部会による初めての千曲川流域下水道処理施設(赤沼)見学会が1月27日行われ、39人が参加しました。最初に、担当の職員から、愛称は「クリーンピア千曲」。約12箇の面積で東京ドームが2.6個分。長野市的一部や須坂市、小布施町、高山村から下水が集まっているなどと説明。汚水をきれいにする方法は「活性汚泥法」で主役を担っているのは微生物。大きさは顕微鏡で見ないと分からない極微小で「1cm³の中に3万~5万匹いる」。実際に、顕微鏡を通してスクリーンに大きく映し出され動く微生物を見て参加者はびっくり。説明後、最初に一次処理を

する沈殿池、次に微生物が活躍するタンク、二次処理の最終沈殿池などを見て回りました。大腸菌や窒素、りんなどを除去し千曲川に放流している仕組みを勉強し、職員の「油やトイレットペーパー以外の紙は流さないで」などの訴えに納得できた1日となりました。



就園前の児童、朝陽小5年生と交流

子育て広場「赤いほっぺ」

【2月1日】

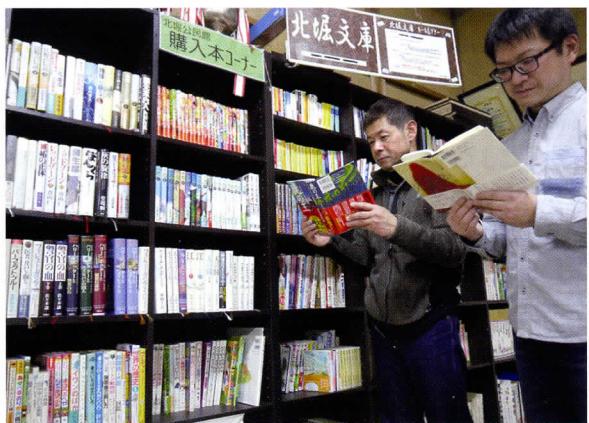
社会福祉部会や地区社協、民生児童委員など主催の朝陽地区子育てひろば「赤いほっぺ」が2月1日、支所2階の公民館分室で開かれました。地区内外から、幼稚園や保育園に行く前の子どもたち35人が集まり、この広場に合わせて子どもたちとの触れ合いを体験学習している朝陽小学校5年2組の児童33人が来場し交流しました。会場は、遊具や絵本、お絵かきなどを一緒に遊ぶ子供たち、情

報交換するお母さんたちを交え約100人で大にぎわい。生まれて間もない乳児を抱っこしたり、おもちゃで子どもの立ち上がりを誘導する児童らの姿も=写真。後半は児童男児が鬼に扮して豆まき、「おにのパンツ」と一緒に歌い、遊具を片付け、楽しいひと時はあっという間に終わりました。



蔵書1500冊「北堀文庫」 北堀

公会堂にある「北堀文庫」は、区民が利用し文化向上にひと役買っています。平成23年1月に開設され、区民が寄贈した単行本や文庫本、絵本、コミックなどを中心に、現在蔵書数はおよそ1500冊。公会堂が開いていればカードに記入するだけで2週間、自由に借りることができます。朝陽地区に唯一ある長野電鉄朝陽駅前の「天神堂書店」からも、話題の本屋大賞や絵本などを中心に新刊本を購入。今年度は「君の名は。」、「君の肺臓をたべたい」、「おやすみロジャー」、「ちはやふる」などをそろえ、区民からの寄贈本も50冊ほどが加わり内容が一段と充実、多くの方の利用をお待ちしております。



新春の力試し 囲碁・マージャン大会 南堀



南堀公民館で1月15日、囲碁将棋同好会・マージャンクラブ同好会・健康麻雀教室同好会による年始めの「囲碁・マージャン大会」が開かれました。朝からの雪降りの中、約30人が参加。高田公民館長が「昨日から大雪に見舞われましたが、降り積もった雪をみなさんの熱い戦いで解かしてください」とあいさつ、4人ずつ3グループで対局する囲碁と優勝を競い合うグループ、順位にとらわれずに楽しむグループに分かれたマージャンがスタートしました。会場は、真剣勝負となり碁石と牌を打つ音だけが響き張りつめた空気が漂っていました。優勝者には、公民館長杯が授与されました。

新年恒例のボウリング大会 桜新町

新年恒例のボウリング大会が1月15日、ピカデリーボールで開かれました。公民館主催で参加者は27名。小学生以下のジュニアの部と中学生以上的一般の部の男女4部門に分かれ、2ゲームの合計得点で優勝を競いました。重いボールを両手で投球するジュニアの部の児童、それを心配そうに見守るお父さん。中にはプロ並みの投球をする選手もいて、ストライクが出るたびに歓声が上がり年代を越えた楽しみの輪が広がりました。年末年始のおご馳走の食べ過ぎ?に、しっかり運動不足解消になった大会となったのではないでしょうか。



新年を祝う獅子舞 北尾張部



北尾張部地区自治会の新年総会が1月1日午後2時より公民館にて行われました。開会に先立ち、「新春の獅子舞」が披露されました。日本での獅子舞の始まりは、16世紀に伊勢の国で飢饉、疫病を追い払うために正月に獅子舞を舞わせたのが最初で、その後、世を祝う縁起ものとして、祝い事や祭り事で獅子舞が行われるようになったそうです。我が地区には、神楽保存会があり、お祭りや運動会など地区の大好きな行事の前には必ず披露されます。「新春の獅子舞」の後行われた総会では獅子舞のご利益か?来年度の役員選出が満りなく行われました。

元旦の役定め総会 石渡

元旦の午前11時。公民館で「平成28年度区役定め総会及び新年会」が開かれました。区長の新年のあいさつの前に、29年度の区の行政運営を担う区長、副区長、会計、氏子総代、同代理、公民館長、同副館長の新役員を定める投票が行われました。選挙委員長の副区長が投票箱を改め、参集した区民は受け付けで氏名を登録して投票用紙をもらい、事前に推挙された各役の氏名の賛否を1人1人記載し無記名で投票しました。30分で投票は締め切られ、隣の部屋で選挙委員の常会長が開票し結果を発表しました。全役員がほぼ満票で承認され、現区長が新役員を紹介、各位が抱負を述べ閉会しました。木製の投票箱横には「昭和四十七年元旦 倉沢保博製作」と読める文字があり、「開始時間は数年前にずらしたが、ずっと昔から元旦に行われている」とのことです。



健康と長寿を祈念、敬老会 北長池



北長池公民館主催の敬老会が2月5日、JAながの長野平南支所で開催されました。当日は肌寒く、いつ雪が降ってきててもおかしくない天気でしたが約100名が参加。吉岡公民館長のあいさつ、来賓の祝辞、高野市議会議員の乾杯の音頭で祝宴に入りました。最初に、千曲新流会による演劇『国定忠治』で開幕。出演者全員の素晴らしい熱演に参加者全員が大きな拍手を送っていました。続いて、オカリナ演奏グループ「野の花」のAKB48の『365日の紙飛行機』、大正琴「カトレア」による『影を慕いて』などの演奏が次々と披露され、宴はなごやかな雰囲気の中で進行。とりは華たま子さんの『岩壁の母』などの昭和歌謡ショーで大いに盛り上がりしました。最後は、参加者全員の健康と長寿を祈念し、万歳三唱で閉会となりました。

江戸川柳に学ぶ人権 北屋島

北屋島公民館で1月15日、人権教育研修会が開催されました。区民19人が参加、人権教育指導員の荒井英雄さんが「江戸川柳に見る人権」の演題で、現代の裁判制度との比較をしながら話を進めました。川柳は「引越した晩からお七やけになり」。放火をした八百屋お七の裁きで判決をする奉行がお七の年齢を低くみてやって刑を軽くしようとしたが、お七は正直に年齢を告げたため火刑になったというもの。参加者は、次にDVDで現代の放火事件に関わる裁判を視聴、江戸時代の「実態を変更」した裁きと現代の「証拠に基づく」裁判員制度による裁判とどちらがいいかを比較、グループに分かれて話し合いました。さまざまな意見が出ましたが、正直に告白した方がよいか、偽りを通すなど真剣に考えさせられました。同時に、江戸時代も現代も人権を守ることはままならないことを学びました。



みんなで楽しんだ芸能祭 南屋島



毎年恒例の芸能祭が12月4日、南屋島公民館で行われ、11組の区民が日頃の練習の成果を発表しました。毎年発表される中年男性グループ「モンチャーズ」の軽快なバンド演奏に始まり、三帰寮の子どもたちによるコップで音を奏でるカップソング、可愛らしいリズムダンス、詩舞、合唱、ハーモニカ演奏、オカリナ演奏などが次々と披露されました。「黄色いハンカチ」や「恋人」、「さらば青春」などの懐かしい歌が出ると参加者も一緒に口ずさみ、勇壮な詩舞には盛大な拍手が送られ、演奏者と区民約50人が一体となり楽しんだ芸能祭となりました。

「朝陽地区オレンジカフェ」

本格スタート

【2月2日】

社会福祉部会による朝陽地区のオレンジカフェが、1月から本格スタートしました。認知症の人やその家族、障害を持つ人、地域の人が気軽に集まり、コーヒー、デザートなどをいただきながら交流をする場で、昨年9月から月1回、試験的に運営を重ね本格オープンにこぎつけました。場所は地区内の喫茶店「おまめ喫茶そいでい」に開設したところから愛称を親しみやすく「まめカフェ」とし、毎月第1週の木曜日に開いています。2月の第1木曜日の2日には、数人の参加者に包括支援センター職員や地域福祉

ワーカー、ボランティアらが加わり約20人余が集いました。この日初めて用意した「歌集」を手に、「夕焼小焼」や「朧月夜」などの小学生唱歌を唱和、手のひら体操で身体をほぐし、いらなくなつたカレンダーで折り箱を作つて=写真=脳トレ、和やかなひと時を過ごしました。参加費は飲み物代100円で、地区内外から自由に参加でき、「どなたでも気軽に立ち寄って」と呼びかけています。



「菊芋焼酎『朝陽』」完成、お披露目

【3月10日】

朝陽地区一支所一モデル事業（地域発きらめき事業）の一環で進められている菊芋焼酎が順調に仕上がり、3月10日、支所2階でお披露目会が開かれました=写真。3月3日には「合同会社朝陽」へ酒類小売業免許の許可も降り、3月末から区内に販売を始めました。焼酎は、千曲川の河川敷内で栽培、収穫した600kgを原材料とし、佐久市内の酒造場で委託醸造されました。名前は「菊芋焼酎『朝陽』」。瓶入り(720ml)で乙類25度。総本数は800本で1本1,500円(税込)。区内では600本が限定販売さ

れ、区外では4月に行われる長野市市制120周年のイベント会場でも50本が販売される予定という。酒造会社では菊芋の独特的風味を残す工夫をしたといい、「何とも言えない菊芋の風味がする」と試飲した合同会社代表役員の倉澤利雄(石渡)さん。地区的会合や、家庭で話題にしながら楽しんでほしいと話しています。



民生・児童委員新メンバー決まる

日頃は私たちの活動に、ご理解とご協力をたまわり深く感謝申し上げます。この度の全国一斉改選により朝陽地区の民生・児童委員が平成28年12月1日より新メンバーにてスタートいたしました。今後も地域福祉の担い手として、高齢者の皆様の相談や育児支援等に力を注いでまいる所存でございます。困ったこと、心配事がありましたら、担当の民生児童委員にお気軽にお声をおかけください。秘密は厳守いたします。

朝陽地区民生・児童委員協議会 会長 横田暁子

役 職	担当地区	氏 名
会 長	北屋島	横田 暁子
副会長	北尾張部	山口あや子
副会長	南 堀	田渕 義昌
会 計	南屋島	梨本 薫
委 員	南屋島	松橋 悅子
〃	北長池	北山 慶二
〃	北長池	菅野 敏江
〃	北長池	春日山さだ子
〃	北長池	傳田 耕司
〃	北尾張部	堀内みち子
〃	北尾張部	錢坂 啓子
〃	北尾張部	横川 和子
〃	石 渡	篠原 好明
〃	石 渡	助川千恵子

役 職	担当地区	氏 名
委 員	石 渡	竹内 信子
〃	石 渡	笠原 秀子
〃	南 堀	今村 君子
〃	南 堀	浅野ちえ子
〃	南 堀	直江 寛志
〃	北 堀	本間嘉代子
〃	北 堀	田中 博子
〃	北 堀	上原 雪子
〃	北 堀	(選考中)
〃	桜新町	倉科 壽子
〃	桜新町	片岡 美代
主任児童委員		早澤 文子
主任児童委員		小林 孝子

(任期 H28/12/1～H31/11/30)



なしもと歯科医院

長野市北長池1597-14
(朝陽小学校そば、北長池公会堂前)

TEL.026-263-5566

●家具オフィスプランニング ●OA・IT ●文具サプライ



株式会社

丸

陽

本社・営業部/〒386-0012 上田市中央2-5-10 TEL 0268-22-2400 FAX 0268-27-8787
長野支店/〒381-2206 長野市青木島町鯛島490-5 TEL 026-283-1108 FAX 026-283-8108

完全個別指導塾

学研 CIAスクール

学校の授業がもっとよくわかる!!

学研の個別指導塾

尾張部教室 TEL(026)256-9131 長野市北尾張部385

広報紙「輝くあさひ」広告募集!

広告料は住自協の運営費として活用させていただきます。お問い合わせは事務局へ。